活動報告4-1.pdf 1 2025/10/06 14:06:11

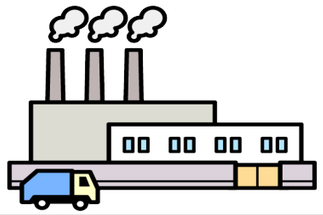
生ごみを減らし、プラスチック焼却をなくそう!

9月定例会
一般質問

上山市議会議員
守岡ひとし活動報告

NO.4
2025.10

川口の施設に運ばれるごみの多くは生ごみ。生ごみのほとんどは水分です。



水分を燃やすために助燃剤としてプラスチックが一緒に燃やされています。

プラスチックを燃やすことによってダイオキシンなどは分解されますが、重金属が気化されて各地の土壌汚染につながります。

生ごみは堆肥化できます。
ハイブリッド型（電気乾燥＋微生物）の処理機で24時間でサラサラの堆肥に!

生ごみを減らせばプラスチックを燃やす必要がなくなり、環境も守られます。

生ごみ堆肥化で化学肥料を減らすことによって、地球温暖化も防ぐことができます。
※化学肥料の使用により一酸化二窒素が発生しますが、一酸化二窒素は温室効果ガスであり二酸化炭素の約300倍もの地球温暖化係数を持ちます。

日本で初めてごみゼロを目指すゼロウエイスト宣言を行った徳島県の上勝町

生ごみをいっさい分別収集していません。ごみの収集ステーションは全町で一カ所しかありません。生ごみは自家処理する仕組みができあがっており、できない家庭には生ごみ処理機を配布しているそうです。

戸田市が取り組んだ「生ごみで花いっぱいのまちづくり」

家庭から出る生ごみをぼかしで発酵させ障がい者雇用のフラワーセンターに運べば花苗24鉢と交換でき、街が花であふれるという楽しい試みです。

上山市鶴脛町一一三一一〇
080−1850−9572
hmoriioka@e-mail.jp

守岡等
検索